

※このメールは東京都が開催いたしましたイベント等にご参加いただいた方、お名刺を交換して下さった方及びメールマガジンの配信を希望された方に BCG でご案内させていただいております。
※今後、メールマガジンの配信を希望されない場合には、お手数をおかけいたしますが、配信不要の旨、メールアドレスを文面に記載のうえ、本メールへ返信する形でご連絡をお願いします。

東京都港湾局 物流通信 2024. 10. 22号(第54号)

大井コンテナふ頭で日本初となる水素を燃料とした RTG による荷役作業を開始しました

東京都港湾局では、令和5年3月に「東京港カーボンニュートラルポート（CNP）形成計画」を策定し、これに基づく脱炭素化に向けた取組として「東京港における荷役機械のFC化プロジェクト」を推進しております。

このたび、東京都港湾局、日本郵船株式会社、株式会社ユニエツクスNCT、株式会社三井E&S及び岩谷産業株式会社は、令和5年5月30日に締結した協定に基づき、大井コンテナふ頭において、タイヤ式門型クレーン（以下、「RTG」）に燃料電池（以下、「FC」）を実装し、令和6年10月21日より、日本初となる水素を燃料としたRTGによる荷役作業を開始いたしました。

本プロジェクトの成果を広く展開することで、荷役機械等の水素利用の普及促進を図り、東京港の脱炭素化を推進してまいります。

■ 実施内容

- （１）荷役機械のディーゼル発電機のFC発電装置への換装
- （２）荷役機械に対する水素供給体制の構築
- （３）荷役機械による荷役作業の実施（荷役機械に対する水素充填を含む）

■ 実施場所

東京都品川区八潮二丁目5番2号
（大井ふ頭6/7号バース 日本郵船東京コンテナ・ターミナル内）

■ 荷役作業の実施期間

令和6年10月21日（月）から令和7年3月末（予定）

※ 詳細は、次のURLからご覧ください。

(東京都報道発表)

<https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/hodohappyo/press/2024/10/21/02.html>

東京港の振興施策のご紹介ページはこちら↓

<https://www.kouwan.metro.tokyo.lg.jp/business/shinkousisaku.html>

メールマガジン「物流通信」のバックナンバーはこちら↓

https://www.kouwan.metro.tokyo.lg.jp/business/post_8.html

問合せ先 東京都港湾局港湾経営部振興課 S0000517@section.metro.tokyo.jp